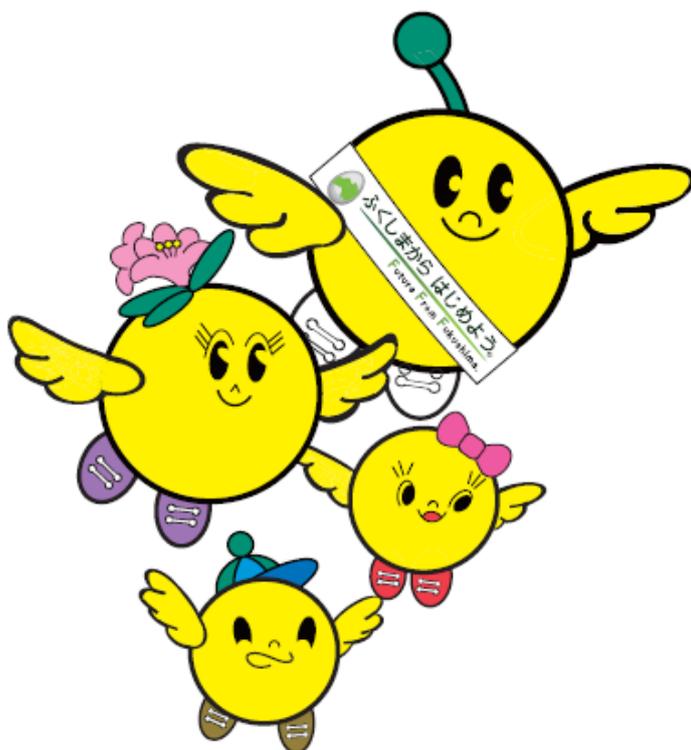


福島県東日本大震災子ども支援基金

事業報告書



福島県復興シンボルキャラクター
「ふくしまから はじめよう。キビタン」

福島県
〔平成30年度版〕

ご あ い さ つ



平成23年3月の東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故から7年余が経過いたしました。

この間、国内外の多くの皆様から様々な御支援をいただいていることに対し、心から感謝申し上げます。

震災と原発事故後、前例のない困難な状況が続く中、昨年9月から今年5月にかけて、帰還困難区域を有する双葉町、大熊町、浪江町、富岡町、飯舘村、葛尾村の6町村において、避難指示の解除及び居住を可能とすることを目指す「特定復興再生拠点区域」を定めた特定復興再生拠点区域復興再生計画が国の認定を受けるなど、避難地域の復興に向けた取組とともに、福島の復興は着実に前に進んでおります。一方で、今なお多くの方々が避難生活を続けられており、風評と風化の2つの逆風など、原子力災害という重荷を背負った福島の復興はいまだ途上にあります。

こうした中、被災した子どもたちを長期的、継続的に支援するため、皆様からお寄せいただいた「東日本大震災ふくしまこども寄附金」を活用し、保護者が死亡したり行方不明となった児童（遺児・孤児）に対する支援に加えて、本県の子どもたちが、様々な困難を乗り越え、心身ともに健やかに育つための施策に活用させていただいております。

本県に心を寄せてくださる全ての方々と力を合わせて、ふくしまの明るい未来を切り拓いてまいりますので、今後とも御理解と御支援をお願いいたします。

平成30年7月

福島県知事 内堀 雅雄

福島県の発災当時の被害状況

平成23年3月11日14:46に三陸沖を震源として発生した「平成23年 東北地方太平洋沖地震」は、マグニチュード9.0を記録し、観測史上最大の地震でした。

最大震度7を記録した激しい揺れとともに、広い範囲で大津波が押し寄せました。



※県浜通り北部（南相馬市、相馬市の状況）

本県では、東日本大震災により、多くの子どもたちが親を失いました。

加えて、原子力災害により、住み慣れた土地からも離れなければならない子どもたちも多く、様々な喪失体験により、幼い心に多大なる負担がかかっています。

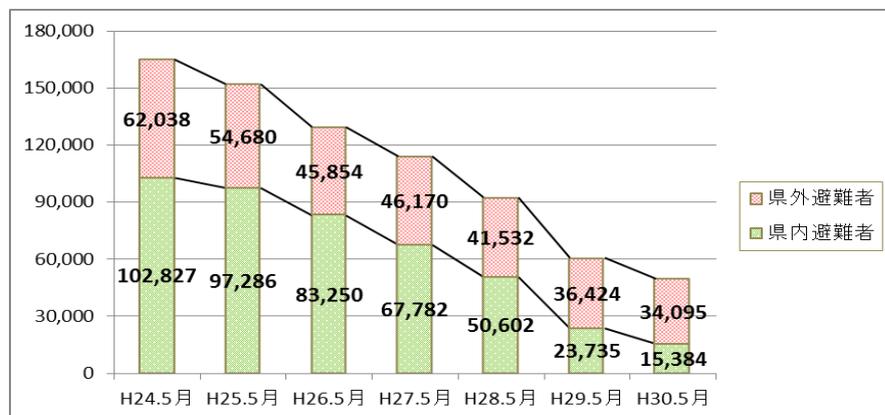
しかしながら、このような状況においても、子どもたちが震災前に抱いていたそれぞれの夢をあきらめることなく、着実に前に進んでいくことができるよう、皆様からの善意の寄附をいただき、長期的な支援を行っていきたいと考えております。

福島県の避難者の状況

避難者数は、平成24年5月をピークに減少を続けておりますが、平成30年5月時点で約5万人の方々が避難を続けています。

1 避難者の推移

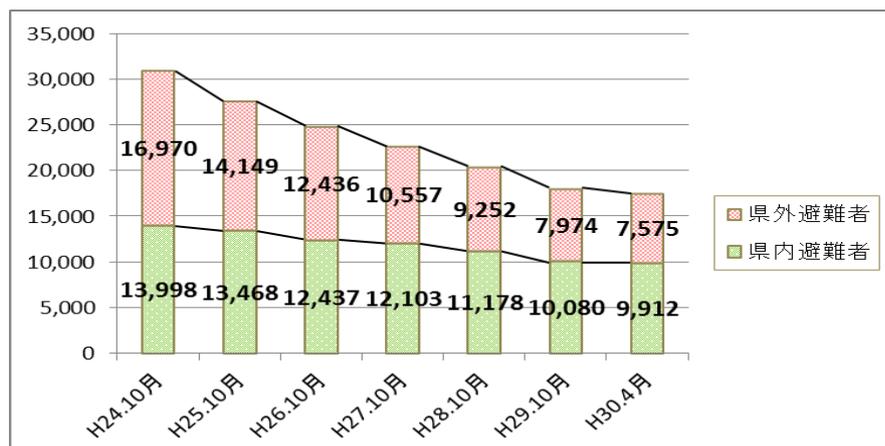
単位(人)



出典:福島県災害対策本部公表資料

2 子どもの避難者(18歳未満避難者)の状況

単位(人)



出典:福島県子ども・青少年政策課調べ

「東日本大震災ふくしま子ども寄附金」について

福島県では、平成23年8月から東日本大震災による震災孤児等への支援のための寄附口座「東日本大震災ふくしま子ども寄附金」を開設しています。

○ 寄附の状況(平成30年3月31日現在)

寄附件数 15,710件 寄附額 5,925,858,708円

○ 被災孤児、遺児(平成30年3月31日現在)

・孤児:24人(孤児:両親若しくは単親の場合、現に養育していた親が死亡又は行方不明となった児童)

・遺児:178人(遺児:両親のうちいずれかが死亡又は行方不明となった児童)

「東日本大震災ふくしま子ども寄附金」について

1 福島県東日本大震災子ども支援基金給付金

福島県東日本大震災子ども支援基金条例を制定し、東日本大震災ふくしま子ども寄附金を基金に積み立て、東日本大震災により、保護者が死亡又は行方不明となった児童（孤児・遺児）に対して、生活及び修学を支援するための給付金を給付する事業を実施しています。

1 対象者 東日本大震災により保護者が死亡し又は行方不明となった児童

2 給付期間 大学等卒業までの期間

3 給付金の種類及び金額

(1) 月額金

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| ア 未就学児童 | 月額（孤児：30,000円、遺児：20,000円） |
| イ 小・中学校に在籍する者 | 月額（孤児：40,000円、遺児：30,000円） |
| ウ 高等学校等に在籍する者 | 月額（孤児：50,000円、遺児：40,000円） |
| エ 大学及び専門学校等に在籍する者 | 月額（孤児：60,000円、遺児：50,000円） |

(2) 一時金

- | | |
|--------------|----------|
| ア 小学校入学時給付金 | 30,000円 |
| イ 小学校卒業時給付金 | 50,000円 |
| ウ 中学校卒業時給付金 | 100,000円 |
| エ 高等学校卒業時給付金 | 300,000円 |

4 給付実績（平成30年3月31日現在）

給付実人員 184人 総給付額 480,450,000円

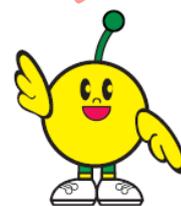
2 「ふくしま子ども寄附金」による新たな支援について

平成24年12月県議会において福島県東日本大震災子ども支援基金条例の改正が議決され、震災孤児・遺児の支援に加えて、支援の対象を県内全域の子どもたちへと拡大し、下記の5つの視点から新たな支援を行っています。

【新たな支援の5つの視点】

- ① 災害・避難等により不便を強いられている子どもへの支援
- ② 子どもたちの将来につながる取組
- ③ 子どもたち及び保護者が元気になる取組
- ④ 子どもたちのふるさと福島への愛着心を醸成する取組
- ⑤ 子どもたちの本県復興への参画

次ページ以降で
紹介します



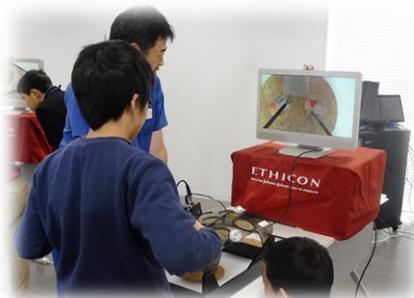


未来へはばたけ！イノベーション人材育成事業

1 事業概要

イノベーションコースト構想等の大規模プロジェクトを担うトップリーダー（理数系トップ人材）を育成するため、次の3つの事業を実施する。

- ① 福島県算数・数学ジュニアオリンピック（「算数・数学コンテスト」）
- ② 科学の甲子園ジュニア福島県大会（「理科コンテスト」）
- ③ 未来を担うトップリーダー！先端技術体験



2 事業実施時期

- ① 平成29年10月22日（日）
- ② 平成29年8月9日（水）
- ③ 平成29年12月9日（土）～12月10日（日）

3 参加者数

- ① 1,269名（小学生827名、中学生442名）
- ② 84名（中学生28チーム84名）
- ③ 28名（小学生6名、中学生22名）

4 事業実施による効果

算数・数学、理科に関心がある児童生徒が論理的な思考力や科学的思考力を問う問題に挑戦する機会を通して、県内児童生徒の理数に対する興味・関心を高めるとともに、問題解決力の育成を図ることができた。

また、「算数・数学コンテスト」及び「理科コンテスト」の成績優秀者を対象に1泊2日で開催した「先端技術体験」により、将来の夢の実現に向けた第一歩を踏み出すとともに、学習意欲を向上させることができた。

5 お問い合わせ先

福島県教育庁 義務教育課 （TEL：024-521-7776）



「子どもを守る・子どもが守る」ICTツール適正使用推進事業

1 事業概要

子どもの生活習慣の乱れや家庭学習への影響、ネットいじめなどが問題になっていることを受け、子どもたちがICT機器を節度やモラルをもって安全かつ適切に取り扱うことができるよう県内の高校生によるワークショップやサミット等を実施する。

2 実施時期及び参加者（校）数

①情報モラル講演会・クラス討論会

平成29年4月28日（金）～10月13日（金） 71校

②高校生スマホワークショップ

平成29年11月7日（火） 生徒、引率教員各96名

③ふくしま高校生スマホサミット

平成29年11月27日（月） 生徒、引率教員各96名

3 事業実施による効果

本県の高校生により、スマートフォン等のICTツールの適正使用を目指した4つの提言「ふくしま高校生スマホ宣言」を作成し、県民に向けて発信した。また、この内容について、リーフレットにまとめ、県内すべての小・中・高等学校、特別支援学校の児童生徒、保護者及び教職員に周知を図るとともに、すべての市町村教委に、学習センター等における配布用として活用を求めた。

4 お問い合わせ先

福島県教育庁 高校教育課（TEL：024-521-7773）





ジャーナリストスクール開催事業

1 事業概要

未来を担う子どもたちが、ふるさと「ふくしま」において、復旧・復興、文化、スポーツ等の分野で活躍している個人、団体に対しての取材をし、新聞としてまとめ、情報を発信することにより、自分たちの住む「ふくしま」の良さを知るとともに、自分の将来の夢や希望を深く考えさせる機会とする。

2 事業実施時期

平成29年8月1日（火）～8月3日（木）

3 参加者数

小学生18名、中学生13名、高校生3名
新聞発表会参観者 71名



4 事業実施による効果

子どもたちが作成した新聞を県内外の避難者の方々に配布することにより、「ふくしまの今」や現状を知らせることができた。また、新聞を福島県内の小・中・高・特別支援学校に配布し、学習の資料等として活用できた。

さらに、子どもたちはそれぞれ課題を持って取材し、自分の考えや思いを表現する新聞づくりをとおして、福島県の現状を知り、「福島は今、良さ」を知り、未来の「ふくしまの復興」を担う子どもたちの育成を十分に図ることができた。

5 お問い合わせ先

福島県文化スポーツ局 生涯学習課 （TEL：024-521-7784）



未来へチャレンジ！ふくしまスポーツ塾

1 事業概要

スポーツに対する意欲や関心が低い、または運動が苦手な子どもたちに対し、スポーツを通じて身体を動かす楽しさを伝える機会を提供した。また、本県で活躍するトップアスリート等からこれまでの経験を伝えてもらうことにより、子どもたちの夢や希望及び本県への誇りの醸成に繋げた。



2 お問い合わせ先

福島県文化スポーツ局 スポーツ課
(TEL: 024-521-7795)

NPO強化を通じた若者定着・地域活性化事業

1 事業概要

本県の高校生・大学生が、NPO法人において1週間程度のインターン活動を行うことで、地域の課題解決などについて学び、体験する場を提供した。

2 お問い合わせ先

福島県文化スポーツ局 文化振興課 (TEL: 024-521-7179)

ふくしまの子・ふるさとの商店街プロデュース事業

1 事業概要

小学生が商店街やまちづくりについて楽しく学びながら商店街の賑わい創出に向けた取組を検討・実践する機会を通し、「こども達のアイデアによる商店街の賑わい創出」と「ふるさとへの愛着心の醸成」を図った。



2 お問い合わせ先

福島県商工労働部 商業まちづくり課 (TEL: 024-521-7126)

ふくしまの未来を担う高校生海外研修・グローバル支援事業

1 事業概要

学校が教育活動の一環として実施する海外ホームステイ研修に参加するための県内の県立・私立高校生及び海外より招へいする海外高校生に対して参加経費の一部を支援した。

また、研修の成果等を教育委員会主催の「英語スピーチコンテスト」を実施し、発表した。

2 お問い合わせ先

福島県教育庁 高校教育課（TEL：024-521-7773）

児童養護施設等入所児童自立支援事業

1 事業概要

児童養護施設等に入所している児童のうち、就職のため退所することが見込まれる児童の普通自動車運転免許取得にかかる費用について、保護者等からの経済的援助が見込まれない場合に、その費用を補助して就職先の選択肢の拡大を図った。

2 お問い合わせ先

福島県子ども未来局 児童家庭課（TEL：024-521-7176）

児童養護施設等退所者のための支援給付金事業

1 事業概要

児童養護施設等に入所している児童のうち、大学等へ進学するため退所する児童の生活を支援する生活給付金、進学・新生活準備のための入学支度金、住居契約更新等の臨時支出費用のための臨時給付金を給付することで、経済面の安定を図り、自立のための支援を行った。

2 お問い合わせ先

福島県子ども未来局 児童家庭課（TEL：024-521-7176）

寄附をくださった皆様へのメッセージ

給付金をお届けしている児童・生徒や保護者の方々から、寄附をくださった方へ寄せられたメッセージをご紹介します。

◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。
(いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

今年3年生になりました。
大学進学のために、勉強をがんばっています。
大学に進学したら、工学部に入り
自分の夢に向かって努力していきたいと思います。
これからよろしくお願ひします。

学校 小学校・中学校・高校・その他()
学年 3年生 ※お名前を書く必要はありません。

◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。
(いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

ありがとう
わたしは
いろいろすみ
にためてもら
うれしいです。

学校 小学校・中学校・高校・その他()
学年 2年生 ※お名前を書く必要はありません。

◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。
(いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

東日本震災は娘が中学校の卒業の日でした。午後家族が居間に居る時、地震が起きました。主人は津波が流れ、大里柱を失ってしまつた。寄附金を受け取り、大変有難く思つております。現在では娘が成人し、長女は行員、次女は看護師、三女は製菓業とそれぞれ歩み立っています。大里柱がなくなると、私も大変な時に助けを頂いて本当に有難うございました。これから親を失った子供達も、亦援手や災害の対応を役々事におまかせしたいと思います。有難うございました。

学校 小学校・中学校・高校・その他()
学年 年生 ※お名前を書く必要はありません。

◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。
(いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

私どもは8年前に突然家族3人壊大に津波で亡くしました。悲しむ暇もなく2人の子供を私一人で育てる生活になりました。精神的に辛かったです。家まで津波で流してしまつて。その時、県から寄附金制度を知り、大変助かりました。子供が幼稚園に就学職がこの4月に決まりました。本当にありがとうございます。悲しみは一先ついて来ます。子供の成長を楽しみに生きて行きます。本当に本当にありがとうございます。

学校 小学校・中学校・高校・その他()
学年 年生 ※お名前を書く必要はありません。母より

寄附をくださった皆様へのメッセージ

◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。
 (いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

たくさんきろとしてくださ
 ありがとうございませ
 おかげでとてもたがって
 いると母が言っていました。
 これからもおねがしませ

学校 小学校・中学校・高校・その他()
 学年 3年生 ※お名前を書く必要はありません。

◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。
 (いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

この春小学校に入学し、
 新しい生活に緊張しつつも
 毎日登校しています。
 福島県のことも心々に心を寄せて
 くださる皆様に感謝
 申し上げます。

学校 小学校・中学校・高校・その他()
 学年 1年生 ※お名前を書く必要はありません。

◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。
 (いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

日頃、支援を頂き感謝
 申し上げます。寄附をくださ
 方の思いをしっかりと
 子供の学資等に当てさせて頂
 けてお陰様で不自由なく生活
 しております。今後希望する道路が
 実現できる様見守っております。

学校 小学校・中学校・高校・その他()
 学年 3年生 ※お名前を書く必要はありません。

◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。
 (いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

いつも寄附をして下さり、あり
 がとうございます。父が亡くな
 ったときとてもかなしかったで
 もそんなときいろいろな活動を
 教えてくれてとてもうれしかったで
 す。このように寄附をしてくれる方
 に感しゃして生活をしていきたいし
 活動は楽しみたいです。本当にありが
 とうございます。

学校 小学校・中学校・高校・その他()
 学年 6年生 ※お名前を書く必要はありません。

寄附をくださった皆様へのメッセージ

◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。
(いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

2011.3.15.
福島県が被災し両親が行方不明(死)状態の小・小6の姉弟を神奈川県で引き取りました。これ以来沢山の方面から援助をいただきました。私共高齢の夫妻だけで養育にまわっています。各方面からの応援は本当に助かっています。私共だけの生計ならば何とでもするつもりです。二つらの若人と育っていく上では私共の力だけではやむを得ないところがあると思います。おかげで姉弟は学年成人式の準備をするところになりました。
弟は専修高校進学です。
皆様の事情をよく言い聞かせておりました。ありがとうございました。

学校 小学校・中学校・高校・その他()
学年 年生 ※お名前を書く必要はありません。

◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。
(いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

お金をきふせてくれた
みな様。
はくたちにお金をきふせてくれた
てありがとうございます。
みなさんのきふせてくれた
は、いろいろなことができるようになりました。ほんとにありがとうございます。

学校 小学校・中学校・高校・その他()
学年 5 年生 ※お名前を書く必要はありません。

◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。
(いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

寄附金、いつもありがとうございます。
ジグザグです。寄附してくださる方のおかげで、塾へ通ったり教材等を買う事ができます。寄附してくださる方のためにもこれからますます勉強に励んでいくことができます。

学校 小学校・中学校・(高校)・その他()
学年 年生 ※お名前を書く必要はありません。

◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。
(いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

皆様のおかげで
元気に学校に通っています。
ありがとうございました。

学校 小学校・中学校・高校・その他()
学年 3 年生 ※お名前を書く必要はありません。

◆寄附をくださった方へのメッセージ◆

寄附をくださった方へ伝えたいことを自由に書いてください。
(いただいた内容は県ホームページなどへのせることがあります。)

毎年のご寄附ありがとうございます。
震災から8年の年を迎えている
現在ですが、親子2人で日々
コツコツ地道に生活しております。
支えてくださる方がいらっしゃる事の
ありがたさを感謝しております。

学校 小学校・中学校・高校・(その他) ()
学年 年生 ※お名前を書く必要はありません。



ふくしまから
はじめよう。

平成30年7月発行

福島県 子ども未来局 子ども・青少年政策課

〒960-8670 福島市杉妻町2番16号

電話：024-521-7198

E-mail:kodomoseisaku@pref.fukushima.lg.jp

福島県庁ホームページ

[ふくしま子ども寄附金](#)

[検索](#)